

## 別表

### 【教育・学習データの取得目的（利活用例）】

#### クラス単位

- (1) 個人に適した教材・問題の提供による教育・学習効果の向上
- (2) アットリスク学生、成績などの予測による教員支援
- (3) 個人の学習履歴の可視化、セルフリフレクションの支援
- (4) 個人の学習履歴を用いたグループ作成やグループ活動支援
- (5) 記述アンケートやラーニング・ポートフォリオの分析による学生の特徴分析
- (6) モーションセンサー、視線情報などを用いたスキル獲得支援
- (7) 健康状態、運動状況と学習状況との関係性の解明
- (8) 映像や生体情報から学生の認知・心理状態の把握

#### 学科、学部、学校単位

- (9) 次の学期の教材の改訂、コース構造のリデザインなどの授業改善
- (10) 学生や教員の最適な配置
- (11) 年度単位のコースや学科、学部のカリキュラムの改善
- (12) 年度単位のコースや学科、学部の学生の特徴を比較

#### 国全体

- (13) エビデンスの蓄積による個人の主観や経験に依存しない教育方法・学習方法の提示による国全体での教育の改善
- (14) キャリア設計・生涯教育の支援
- (15) 教育学、認知科学、学習科学、脳科学など観点でのデータの利活用による学術の進展